

中心市宣言書

「ともにつくる 活気に満ちた
安心で潤いのある南相馬」



国指定重要無形民俗文化財 相馬野馬追



南相馬市定住自立圏中心市宣言

少子・高齢化と人口減少、地方圏から東京圏への人口の流出、地域経済の低迷に伴う厳しい財政状況など、地方圏の現状は極めて厳しい状況にあります。

もはや、すべての市町村において、フルセットの生活機能を整備することは限界であり、今後は「選択と集中」「集約とネットワーク」の考え方を基本に行政経営を進めていくことが重要になっています。

私たちのまち“南相馬市”は、このような課題に適切に対応し、将来とも持続可能な自治体として、子どもたちへ誇りをもって引き継いでいけるまちづくりを目指し、平成18年1月1日に小高町・鹿島町・原町市の1市2町が合併して誕生しました。

本市が位置する福島県浜通り地方北部の相馬地方は、地理的な近接性に加え、古くから国指定重要無形民俗文化財である相馬野馬追をはじめとする歴史や文化を共有し、生活面はもとより、行政、観光、経済などの多くの面で結びつきを重ねてきました。

このような結びつきから、南相馬市が誕生する以前より、相馬地方は旧原町市及び相馬市を核に、周辺町村を含めた6市町村のエリアにより広域行政圏を形成し、消防、看護専門学校を設置・運営などを行ってきました。

また、隣接する飯舘村とは、環境衛生施設などの共同運営のため一部事務組合を組織するなど、共通する課題に対して連携を図ってきました。

こうした広域連携の歴史経過の中で、特に旧原町市は、商工業や流通・金融をはじめとする経済活動や、医療、福祉、教育など日常的な生活の各分野においても、市内はもとより周辺市町村にその都市機能を発揮してきましたが、将来とも、周辺市町村とともに活力ある地域として持続的に発展していくためには、地域資源を活用して自立度の高い産業都市を構築し、地域の活力を高めていくことが求められていました。

合併により、7万2千人余りの人口となった南相馬市は、相馬地方そして隣接する双葉地方を含む相双地方で最大の人口を有する都市となりましたが、これを契機に、永い年月をかけて育んできた歴史や多様な伝統文化を次の世代にしっかりと継承するとともに、基本構想に掲げた本市の将来像である、「ともにつくる 活力に満ちた安心で潤いのある南相馬」を確実に具現化し、市域はもとより地域全体の発展と飛躍につなげていかなければなりません。

そして、目前となる常磐自動車道の開通を見据えた中で、定住自立圏の中心市としての都市機能を発揮するため、周辺市町村と有機的に連携して、地方圏への人の流れの誘導、ライフステージに応じた多様な選択肢の提供など、「定住」のための暮らしに必要な諸機能を確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の魅力を醸成し、圏域全体として魅力あふれる地域の形成を図り、更なる新しい価値の創造へつなげる必要があります。

そのことから、本市は、魅力あふれる定住自立圏域の構築と相双地方のさらなる発展のため、それにふさわしい行政経営と都市機能の充実に努め、周辺の市町村と互いに連携・協調することを決意し、ここに圏域の中核的な役割を果たす“まち「中心市」”として、圏域全体の発展のため、力強く前進していくことを宣言するものです。

平成21年3月25日

南相馬市長 渡辺 一成

定住自立圏域形成の背景と取り組み

中心市となる南相馬市と周辺地域に居住する住民の生活機能を確保し、様々な地域資源を活用した自立度の高い産業都市を構築するための都市機能の集積状況、及び周辺市町村との連携・協調、交流の状況、そして、今後展開しようとする取り組みについては以下のとおりです。

1 南相馬市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、大規模商業・娯楽機能・その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、下記のとおりであり、定住自立圏を形成する中心市として一定の都市機能を有している。

(●=原町区、▲=小高区、■=鹿島区)

	定住自立圏の目指すべき都市機能	施設名	備考
医療・福祉	病院	●市立総合病院(1)、●渡辺病院(1)、●小野田病院、■鹿島厚生病院、●大町病院、▲市立小高病院、●雲雀ヶ丘病院(2)、▲小高赤坂病院(2)	(1)脳疾患・心臓疾患対応病院 (2)精神科対応病院
	救急病院	●市立総合病院、●渡辺病院、●大町病院、●小野田病院	
	夜間小児救急医療	●市立総合病院(相馬郡・双葉郡医師会)	
	指定介護老人福祉施設	●福寿園、▲梅の香、■万葉園、●長寿荘、●竹水園	
	介護老人保健施設	●長生院、●ヨッシーランド、■厚寿苑	
	指定介護療養型医療施設	●大町病院、▲市立小高病院	
教育	各種専門学校	●県立浜高等技術専門学校 ●原町自動車学校、●原町中央自動車学校	職業能力開発促進法に基づく職業訓練校
	高等学校	●県立原町高等学校、●県立相馬農業高等学校、▲県立小高工業高等学校、▲県立小高商業高等学校、●学校法人松韻学園松栄高等学校	
文化・スポーツ	大型文化ホール	●南相馬市民文化会館(ゆめはつと)、▲浮舟文化会館、■鹿島生涯学習施設(さくらホール)	
	図書館	●【建設中】	※複合型生涯学習施設 情報受発信機能、市民交流機能
	博物館・資料館等	●南相馬市博物館、■鹿島歴史民俗資料館、▲埴谷島尾記念文学資料館	南相馬市博物館は、博物館法に基づく登録施設
	陸上競技場	●【改修予定】	※第三種競技場公認取得予定
	野球場	●市野球場、●北新田野球場、■みちのく鹿島球場	
	乗馬・馬術競技場	●馬事公苑	
	パークゴルフ場	■牛島パークゴルフ場	NPO法人国際パークゴルフ協会公認コース
情報・娯楽	祭事	●▲■相馬野馬追祭(●祭場地)	国指定重要無形民俗文化財
	図書館(再掲)	●【建設中】	※複合型生涯学習施設 情報受発信機能、市民交流機能
	海浜公園	●北泉海浜総合公園(CCZ)	
	キャンプ場	●はらまちシーサイドパーク、▲村上海浜公園キャンプ場、■右田浜キャンプ場	
	農業体験施設	●ハートランドはらまち	
	まちの駅	●野馬通り銘醸館	
産業	公営競技施設	■サテライトかしま(競輪)	
	産業支援	●ゆめサポート(産業支援センター) ●農林水産振興支援センター【計画中】	
交通	賑わいの創出	●市民市場、●屋台村、●チャレンジショップ	
	高速道路	●▲■常磐自動車道【建設中】、●原町IC【建設中】、■鹿島SA【建設中】、▲小高スマートIC(構想中)	
	主要な駅	●JR常磐線原ノ町駅、▲小高駅、■鹿島駅	
	長距離バス	南相馬市(●道の駅南相馬) ⇄ 東京	
	道の駅	●道の駅南相馬	
防災センター	●【計画中】		
行政	県出先機関	●南相馬合同庁舎(相双地方振興局、相双保健福祉事務所、相双建設事務所、相双農林事務所、相双教育事務所)	主な出先機関
広域連携	消防	●広域消防本部(南相馬市)	相馬地方広域市町村圏組合
	ごみ処理	●■クリーン原町センター	
	し尿処理	●浄化センター	飯館村分を受託
	斎場	●原町斎場	飯館村分を受託

2 周辺市町村の都市機能の利用状況

次表のとおり、医療、教育、買物などの日常生活において、周辺市町村の住民も本市の都市機能を活用しており、この地域で最大の人口を有する南相馬市は、行政機能、民間機能における様々な分野において、周辺市町村の住民に対し生活機能に係る都市機能を提供している。

①南相馬市立総合病院地域別患者数（平成19年度）

（外来患者）（単位：上段 人・下段 %）

	南相馬市	相馬市	相馬郡		双葉郡			
			新地町	飯舘村	浪江町	双葉町		
人数	74,860	5,380	4,884	680	4,204	17,811	11,513	2,511
構成比	71.6	5.1	4.7	0.7	4.0	17.0	11.0	2.4

双葉郡						その他 県内	県外	合計
大熊町	富岡町	楢葉町	広野町	葛尾村	川内村			
1,894	1,192	186	23	275	217	474	1,167	104,576
1.8	1.1	0.2	0.0	0.3	0.2	0.5	1.1	100.0

注：患者数は患者数月報（科別・地域別）の延数の集計である。
診療日数は243日である。

（入院患者）（単位：上段 人・下段 %）

	南相馬市	相馬市	相馬郡		双葉郡			
			新地町	飯舘村	浪江町	双葉町		
人数	46,420	6,191	2,792	658	2,134	13,649	8,354	2,269
構成比	64.9	8.6	3.9	0.9	3.0	19.1	11.7	3.2

双葉郡						その他 県内	県外	合計
大熊町	富岡町	楢葉町	広野町	葛尾村	川内村			
1,258	922	489	4	137	216	929	1,594	71,575
1.7	1.3	0.7	0.0	0.2	0.3	1.3	2.2	100.0

注：患者数は患者数月報（科別・地域別）の在院延数の集計である。
診療日数は366日である。

②南相馬市立総合病院夜間小児救急外来の地域別利用状況（平成19年度）

（単位：上段 人・下段 %）

	南相馬市	相馬市	相馬郡		双葉郡			
			新地町	飯舘村	浪江町	双葉町		
人数	2,329	54	105	5	100	758	343	106
構成比	69.7	1.6	3.1	0.1	3.0	22.7	10.3	3.2

双葉郡						その他 県内	県外	合計
大熊町	富岡町	楢葉町	広野町	葛尾村	川内村			
164	118	12	1	5	9	27	69	3,342
4.9	3.5	0.4	0.0	0.1	0.3	0.8	2.1	100.0

注：診療日数は366日である。

③南相馬市内高等学校、技術専門校等地域別入学者数（平成20年度）

（単位：上段 人・下段 %）

	南相馬市	相馬市	相馬郡		双葉郡			
			新地町	飯舘村	浪江町	双葉町		
人数	474	49	26	16	10	137	60	12
構成比	67.0	6.9	3.7	2.3	1.4	19.3	8.5	1.7

双葉郡						その他 県内	県外	合計
大熊町	富岡町	楢葉町	広野町	葛尾村	川内村			
21	27	12	1	3	1	21	1	708
3.0	3.8	1.7	0.1	0.4	0.1	3.0	0.1	100.0

④買物動向調査（旧原町市における吸引率）

（単位：%）

	背広	セーター・ ブラウス	下着	靴・バッグ	本・CD	家電製品	日用品	医療品・ 化粧品	食料品
旧小高町	71.1	67.5	72.3	53.7	78.0	80.5	31.1	51.6	20.7
旧鹿島町	60.0	53.9	51.9	42.1	70.7	75.3	49.3	62.7	19.4
飯舘村	20.0	18.9	25.5	16.4	20.4	24.5	15.7	33.3	18.0
浪江町	57.9	24.1		23.1	19.7	56.9			
双葉町	53.7	19.5		11.6	11.6	54.8			
大熊町	16.5					10.8			

注：平成18年福島県消費購買動向調査（3次商圈まで）

3 展開しようとする取り組み

南相馬市における都市機能等を活用して、周辺にある市町村と連携しようとする取り組みは以下のとおりである。

①生活機能強化のための取り組み

a 医療

- ・医療集積機能（民間病院、公的病院、診療所等医療機関、医師会等）を活用した南相馬圏域における地域完結型の医療供給システム構築のための医療の連携、医師の確保 など

b 福祉

- ・介護、福祉分野における認定審査会等の共同設置運営 など

c 教育

- ・南相馬市宮雲雀ヶ原陸上競技場など拠点施設の整備による児童・生徒などを含めた各種公認競技大会の誘致などスポーツツーリズムの振興 など
- ・教育カウンセラー等の共同設置 など

d 産業振興

- ・産業支援センターの広域利用による地域中小企業の経営革新支援、雇用創出、創業支援、産学官連携のコーディネート など

- ・特産品の開発とPRの推進、国指定重要無形民俗文化財である相馬野馬追のPRの推進、山・川・海の豊かな自然などの観光資源の整備・情報発信などの連携 など

e 生活機能

- ・し尿処理、斎場、ごみ処理業務の受委託等による環境衛生施設及び都市用水の広域的な利活用 など
- ・防災対策機能整備などの住民生活の安心・安全の確保 など

②結びつきやネットワーク強化に係る政策分野

a 交通弱者に配慮した地域公共交通体系の整備

- ・圏域内の生活交通の維持・確保に向けた取り組み など

b デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

- ・ブロードバンド基盤の整備促進、ICT利活用による遠隔医療体制の構築、教育・スポーツ施設等の公共施設の利用申込みなどの相互利用システムの構築、携帯電話圏外エリアの解消 など

c 道路等の交通インフラ整備

- ・地域間交流促進のための生活幹線道路等の整備に向けた取り組み など

d 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消の推進

- ・生産者の顔が見える安心で安全な圏域内の農産物等、地域内の生産者と消費者の連携のための市民市場の整備、地産地消の推進 など

e 地域内外の住民との交流・移住促進

- ・圏域市町村連携による定住促進、IJUターン促進のためのパンフレットの作成及び情報発信 など

f その他結びつきやネットワーク強化に係る連携

- ・建設中の新南相馬市立図書館蔵書活用による圏域内移動図書館の運営及びインターネット申込みによる圏域内住民を対象とした公共施設の相互利用促進 など

③圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

a 宣言中心市等における人材の育成・交流

- ・圏域マネジメント能力強化のための圏域内市町村職員の人材育成、交流 など

b 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

- ・医療供給システム構築、特別な教育ニーズなどに対応する専門性を有する人材の確保 など

c その他

- ・その他、圏域マネジメント能力の強化に係る連携

4 南相馬市への通勤通学割合

次表のとおり、平成18年1月1日に合併した本市に対し、従業又は通学する就業者数及び通学者数を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値（以下「通勤通学割合」という。）が10%以上の周辺市町村は、南相馬市に隣接する相馬市、浪江町、飯館村の1市1町1村である。

周辺市町村からの状況 (単位：人)

	常住就業者 ・通学者数	うち南相馬市で の従業者・通学 者数	通勤通学割合
相馬市	17,301	1,839	10.6%
浪江町	9,393	1,071	11.4%
飯館村	2,516	293	11.6%
計	29,210	3,203	11.0%

注：常住就業者・通学者数は自宅で従業している者の数を控除した後の数である。

福島県全図（南相馬市の位置）

※地図画像提供：「白地図 kenmap」の編集データから
国土地理院承認 平14総規 第149号

